

大山街道

見どころマップ

赤坂～三軒茶屋	1A	1B	二子玉川～荻田	3A	3B	長津田～鶴間	5A	5B	厚木～愛甲	7A	7B
三軒茶屋～二子玉川	2A	2B	荻田～長津田	4A	4B	鶴間～厚木	6A	6B	愛甲～大山	8A	8B



6. 鶴間から厚木まで

下鶴間宿を出て、平坦な相模原台地を横切る大山街道は、めずらしく7キロほどの直線コース。昔は昼なお暗い雑木林の中を通る、人家もまばらな道でした。今では商家や住宅街が建ち並び、さみしい面影はありませんが、古道を伝える道標や庚申塔が幾つかみられ、「桜並木」には、戦後の歴史も刻まれています。

海老名市の誇る相模国分寺跡や国分尼寺跡などの国指定史跡は、大山街道沿いの旧「国分宿」の近くにあつて、温故館や広い公園もあり、年間を通して、多くの見学者が訪れます。また4～5世紀頃に造られた前方後円型の瓢箪(山)古墳。少し足を伸ばせば、数個の古墳が集まり、全体が緑に覆われた秋葉山古墳群。さらに、全長6キロの人口の運河「史跡逆川」は、記念碑や船着場跡もあつて、周囲の地形から往時を偲ぶことができます。

海老名駅周辺は、かつて「一望三千石」といわれた、豊かな水田地帯でして、大宝律令により作られた「古代条里制」の基準線の一つが、大山街道になっています。相模川河畔・河原口には、何軒かの船宿があり、「厚木の渡し」として栄えました。

東原桜並木



相鉄線さがみ野駅前から北へ約1.2kmに渡って続く桜並木。戦後の食糧難対策として引かれた畑地灌漑用水の完成を記念し、生産組合員によって植えられた。現在は開拓当時の面影はないが、桜並木だけは地域の手で守られてきた。

春のさくらまつり、12月のイルミネーション、花のあふれる街をつくる「ストリートガーデン事業」など、地区商店会によるアイデアいっぱいの地域活動も盛んで、みどりとさくらの美しい景観を造り出している。

1 大山街道碑



大山街道では珍しく7キロほどの直線道路で、平坦な相模原台地を横切る。宅地開発以前は雑木林の茂る原野。別名・さいこが原、薬草・ミシマサイコの収穫地であったが、現在はほぼ絶滅。

2 富士塚と庚申塔



附近に積もった富士山の火山灰を集めた小高い丘・富士塚。その中腹の庚申塔は、文化13年(1816)柏ヶ谷の講中で建立した道標。

3 赤坂の道標と不動明王坐像

4 古東海道の坂道

この道を南に直進すると稲荷台、更に1kmほど先に昼なお暗い古東海道とされる坂道。その先にはお銀の家跡(JAさがみ早園支店)やお銀の墓も近くにある。